

事務事業評価シート

H28(標準事業)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	市民文化部
	02047-1	交通安全対策事業	室名	地域づくり支援室
	基本施策の大綱	03:健康で自然の恵み豊かな環境の創造	財	会計 一般会計
	基本施策	06:地域安全の充実	務	款 総務費
実施体系	施策の方向	02:交通安全の確保	科	項 総務管理費
	戦略プロジェクト		目	目 交通安全対策費

② 目的・概要	対象	市民及び亀山市への来訪者
	目的	交通事故の発生を抑止するため、関係機関と連携した交通事故危険個所の改善に向けた取り組みや交通マナー・交通ルールの周知を図るとともに、子どもから高齢者まで年齢に応じた交通安全に関する啓発活動を推進する。亀山警察署や亀山地区交通安全協会などと連携し、交通安全に向けた地域での活動を行う。
概要	四季の交通安全運動期間中の出発式の実施 早朝街頭啓発の実施 自転車安全運転啓発の実施 交通安全教育推進員研修会の実施	

		27年度	28年度												
③ 指標	① 補足	<table border="1"> <tr> <td>名称</td> <td>四季の交通安全運動の啓発活動</td> <td>計画値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>出発式、早朝街頭啓発、スーパーマーケット・ドライブイン・道の駅・JRの駅前等でのチラシ、反射材等の啓発物品の配布、亀山市交通安全教育推進員の委嘱及び研修会、懸垂幕、のぼり旗の掲揚など</td> <td></td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td></td> <td></td> <td>回</td> </tr> </table>	名称	四季の交通安全運動の啓発活動	計画値		実績値	出発式、早朝街頭啓発、スーパーマーケット・ドライブイン・道の駅・JRの駅前等でのチラシ、反射材等の啓発物品の配布、亀山市交通安全教育推進員の委嘱及び研修会、懸垂幕、のぼり旗の掲揚など		34	単位			回	47
	名称	四季の交通安全運動の啓発活動	計画値												
	実績値	出発式、早朝街頭啓発、スーパーマーケット・ドライブイン・道の駅・JRの駅前等でのチラシ、反射材等の啓発物品の配布、亀山市交通安全教育推進員の委嘱及び研修会、懸垂幕、のぼり旗の掲揚など		34											
単位			回												
② 補足	<table border="1"> <tr> <td>名称</td> <td></td> <td>計画値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	名称		計画値		実績値				単位					
名称		計画値													
実績値															
単位															

年度計画				年度実績				
④ 事業の計画・実績					<ul style="list-style-type: none"> 四季の交通安全運動を中心に、出発式の実施 3回 早朝街頭啓発 5回 市内のスーパーマーケット、ドライブイン、道の駅、JRの駅前、イベント開催時等に、チラシや反射材等の啓発物品の配布、市民等に交通安全啓発活動の実施 18回 重大な交通死亡事故発生現場付近にて、亀山警察署、亀山地区交通安全協会との合同の啓発活動の実施 2回(2日間) 各小学校長推薦による交通安全教育推進員(143名)の研修会を実施 1回 			
	事業費	計画額	予算額	決算額	総人件費 ①	3,662	平均給与額×③	
	国庫支出金		928	871	一般職員人件費 ②	3,662		
	県支出金				所要人員 ③	0.50		
	地方債				臨時職員人件費 ④			
	その他				受益者負担額 ⑤			
	一般財源		928	871	受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥	
	再掲	翌年度への繰越額		0				
		前年度からの繰越額		0				
		総人件費		①	3,662			
	総コスト		⑥	4,533				

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	<p>亀山警察署管内の平成28年の交通事故死亡者は1名で、前年比より2名減少した。物損事故件数は前年比より増加したものの、人身事故件数及び負傷者数はともに、前年比より減少した。市・亀山警察署・亀山地区交通安全協会の3者で構成する亀山市交通安全対策協議会や各関係機関と連携し、交通安全思想の普及、向上を図ることができた。</p>	総合判定
			<p>B</p> <p>まずは進んだ</p>

⑤ 事業の評価	【反省点・課題】	<p>亀山警察署管内では、死者数、負傷者数、人身事故件数ともに前年比より減少したものの、物損事故件数は前年比より増加している。また、県内では65歳以上の高齢者の死者数が半数以上を占めているため、特に高齢者を中心に交通安全意識の高揚を図るための啓発活動を行う必要がある。</p>
	【改善の方向性】	<p>交通安全啓発活動の取り組みを、交通安全関係団体の他、老人クラブ、小・中学校等にも広げていく。三重県交通安全研修センター等の関係施設を利用し、高齢者等の交通安全意識の向上を図っていく。</p>

事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切	最終評価確認者: 地域づくり支援室長 深水 隆司
--------------	---------	--------------------------